

令和4年度

一般会計・特別会計決算審査講評に対する対応調書

長野県佐久広域連合

令和4年度 一般会計・特別会計決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況（関係課の対応）	関係課
一般会計			
①	FMラジオを活用した佐久地域PR事業は、事業効果が数値として見えづらい点がある。令和5年度以降も実施することなので、事業実施後のインターネット媒体等の数値をしっかりと検証し、可能な限り目に見える形で効果を示していただきたい。今後も、引き続き佐久地域のPRのための企画や事業展開を期待している。	ラジオの性質上、聴取率を把握し効果を検証することは困難であるが、会場への来場者のほか、放送の様子をアーカイブしたYouTubeの再生回数、Web記事のページビュー回数などを検証し、今後の佐久地域PR事業に活かしてまいります。	<事務局> 庶務課
②	佐久平斎場については、火葬炉改修工事等を随意契約で行っており、その理由も理解できるが、特殊性ということにとられず、工事の内容や金額が妥当かどうか、しっかりと精査していただきたい。	佐久平斎場における点検及び修繕の年次計画は、建設時に佐久平斎場の火葬炉設備工事を請負い、現状、保守管理に携わっている事業者提案を確認したうえで計画しております。 火葬炉設備の保守管理や改修業務は専門的な知識を必要とするものですが、今後、火葬炉設備等の損耗具合を保守点検の際に確認したり、真に改修が必要な状況であるかどうか等について把握することで、工事の内容や金額が妥当かどうかの精査を行いたいと思います。	<事務局> 庶務課
③	介護認定及び障害支援区分認定については、事務処理を誤ることのないよう、公平かつ公正な審査判定に努めていただきたい。	介護及び障害支援区分認定審査会の実施にあたっては、全国一律の方法によって行われる認定調査について、基本調査の誤りや不整合等を事前に確認するなど、関係市町村との連携を図り、審査会委員、主治医、認定調査員をつなぐ仲介役として公平・公正な事務局運営に努めてまいります。	<事務局> 福祉課
④	成年後見支援センター及び障害者相談支援センター事業については、民間企業や地方公共団体の障害者雇用率が段階的に引き上げられることから、関係機関と連携し、引き続き就労支援の相談にも力を入れて取り組んでいただきたい。	障害者相談支援センターにおいて、就労支援の相談については、障がい福祉事業者へ当事者をつなげることが多いですが、一般就労が可能な方の相談があった場合には、障害者雇用率の引き上げを考慮しながら、国・県事業を受託している「就業・生活支援センターほーぷ」と連携してまいります。	<事務局> 障害者相談支援センター
消防特別会計			
①	人口減少時代に突入していく中で、消防職員になりたいという人を増やすためには、学生の職業体験等は非常に重要だと感じる。要望があれば積極的に受け入れをしていただくとともに、職員不足に陥ることのないよう、職員募集のPRにも力を入れて取り組んでいただきたい。	小学生の宿泊体験や社会科見学をはじめ、中学生や高校生の職場体験を積極的に受け入れ、消防業務を体験するなかで、命の大切さや助け合いの心を学んでいただきながら、消防の魅力や働きがいについて伝えてまいります。 また、消防ふれあいフェスティバルの開催や、地域の催物などを活用し、地域の皆様への防災意識の啓発とともに、積極的に職員募集PR活動に努めてまいります。	<消防> 消防本部・各消防署

令和4年度 一般会計・特別会計決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況（関係課の対応）	関係課
②	救急出動現場から病院までの搬送に時間がかかる事例が全国的にも問題になっていると認識している。佐久地域では、現在、病院搬送までの時間短縮のため、病院や関係機関との検討を始めているとの報告であったが、これらの問題は住民の生命に直結するので、円滑な救急搬送ができる救急体制の構築を期待している。	<p>高齢化の進展を背景とした救急需要の増加に加え、新型コロナウイルス感染症による影響など、救急搬送困難事例の増加に比例して病院収容所要時間は年々延伸している状況であります。</p> <p>さらに来年度から適用される医師の働き方改革に対応するため、この地域の救急体制について、行政・医療機関・消防で協議・検討を進めております。</p> <p>国においても、「救急業務の円滑な実施と質の向上」等について検討を進めており、今後についても情勢を注視しながら、救急業務の安定的かつ持続的な提供に向けて、関係機関との連携を強化してまいります。</p>	<消 防> 消防本部・各消防署
③	各種救命講習会は既に各消防署で実施しているところであるが、佐久地域は面積も広く、地域によっては救急要請から現場に到着するまでに時間がかかるケースが想定されるため、より多くの住民に救命講習会を受けてもらえるように、引き続き広報活動に取り組んでいただきたい。	<p>引き続き佐久広域の広報誌やホームページ、市町村の広報誌や各地元のケーブルテレビ等を利用し住民に周知してまいります。</p> <p>また、企業や学校等から救命講習会を随時受け付けて実施しておりますが、令和5年度からは、さらに普通救命講習を定期的開催し、担当署を順番にすることで各地域の住民が近くの消防署で受講していただくことが可能となります。</p> <p>今後も地域住民が受講しやすい環境を整備してまいります。</p>	<消 防> 消防本部・各消防署
特別養護老人ホーム特別会計・救護施設特別会計			
①	人材不足による介護職員の確保に大変苦勞されているとのことだが、将来的には全国的に人材不足が懸念される中、外国人実習生の活用や賃金の改定も視野に入れ、介護職員確保に向けた検討をお願いしたい。	<p>引き続き、各種求人掲載を実施しながら介護職員の確保に努めつつ、外国人実習生の活用等、より多様な人材へと視野を広げ、介護職員が確保できるよう検討をしてまいります。</p> <p>また、介護職員に処遇については、国の介護報酬改定等の動向を見極めながら、事務局と連携して必要な検討を行ってまいります。</p>	<施 設> 特別養護老人ホーム豊昇園 特別養護老人ホーム塩名田苑
		<p>現在、介護職員の確保については厳しい状況であります。外国人実習生の活用、または有料職業紹介事業所の活用を含め、介護職員確保に向けた検討を進めてまいります。</p>	救護施設清和寮
②	特別養護老人ホームは、入所者の看取りに力を入れているとのことだが、家族にとっては大変ありがたいことだと思われる。今後もぜひ続けていただき、家族に感謝される施設を目指していただきたい。	<p>単に施設で人生の最期を迎えるだけではなく、入所者のそれまでの生い立ちや家族の想いに寄り添い、どのような形で看取らせていただくことが入所者及び家族にとって一番幸せであるのかを常に追い求めながら、引き続き看取りに取り組んでまいります。</p>	<施 設> 特別養護老人ホーム豊昇園

令和4年度 一般会計・特別会計決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況（関係課の対応）	関係課
		<p>日々接していることで気付ける表情や体調等の変化に応じ、健康で穏やかな生活を送っていただくとともに、ご家族との連携を密に取り、やがて訪れる最期の時間にもできるだけご家族が立ち会っていただけの環境をご提供できるよう、今後とも尽力してまいります。</p>	<p><施設> 特別養護老人ホーム塩名田苑</p>
③	<p>いずれの施設も少ない職員の中での行事の開催や介護は大変だと思うが、職員の健康管理には十分留意し、入所者のため職務に精励していただきたい。</p>	<p>入所者を取り巻く重度化・複雑化する多種多様な課題への対応や、刻々と変化する状況への対策等に尽力し、入所者に安らかに過ごしていただけるよう、今まで以上に職員がお互いに助け合うことができる職場環境づくりに努め、入所者のため引き続き職務に精励するとともに、職員の心身の健康にも配慮してまいります。</p> <p>出勤時には検温をし、体調不良の際は休める体制づくりを心がけております。 また、有給休暇を有効活用し健康管理に留意してまいります。</p>	<p><施設> 特別養護老人ホーム豊昇園 特別養護老人ホーム塩名田苑</p> <p>救護施設清和寮</p>